

【質疑応答】	
質問者① 今後の説明会、事業の進捗状況の確認について	
(質問)	・今後の説明会は、何回ぐらい予定しているのか。また、用地調査の進捗状況を確認することはできるのか。
(回答)	・用地調査が終われば、その後は用地買収について個別に説明させていただく予定です。今後の説明会は、工事着手前に工事の説明会を開催する予定です。 ・用地調査の進捗状況については、その都度の情報発信が困難であるため、個別にお問い合わせいただければお知らせします。
(質問)	・ホームページなどで、事業の進捗状況を掲載できないか。
(回答)	・ホームページの利用、公表方法等について検討します。
質問者② 用地買収に係る残地の面積について	
(質問)	・地図のうえでは残地が残っているように見えるが、具体的にどのように残るのか。
(回答)	・基本的に用地買収は、道路事業に必要な部分のみとなります。残地がどのくらいの面積になるのかは、配布資料P8の事業の進め方にある「⑨境界測量、用地面積の計算」の段階で正確な面積がはっきりします。
質問者③ 用地買収の単価について	
(質問)	・用地買収の土地単価はわかっているのか。各地権者が想定している単価があると思われるので、それらを詰めていく方が先決問題ではないか。
(回答)	・用地買収の土地単価については、不動産鑑定士に委託して算出するため、現段階では不明です。また、土地の形状等で土地単価は異なります。 ・用地買収の金額提示についても、土地単価に面積を乗じた土地代と、建物等の補償金額と合わせた総額を提示させていただくため、土地単価だけを先に提示することはできません。
質問者④ 用地測量等の開始時期について	
(質問)	・用地測量はいつから入るのか。
(回答)	・市道味酒23号線から西側で、法務局に測量図がある箇所では、8月上旬から境界の復元測量に入り、9月頃から用地幅杭の設置作業に入る予定です。
(質問)	・国道196号から西側の市道付替え部の地形測量はいつ頃からはなるのか。
(回答)	・早ければ今年度末から地形測量に着手したいと考えています。
質問者⑤ 鉄道高架事業の遅れの影響について	
(質問)	・鉄道高架事業の工期が4年遅れることになったが、松山駅西口南江戸線の事業に影響はないのか。
(回答)	・松山駅西口南江戸線の事業と鉄道高架事業とは直接的に関係はないため、その影響を受けることはありません。ただし、地図訂正に要する期間や予算の状況など不確定な要素があるため、事業期間が長引く可能性もあります。
質問者⑥ 借家人の引越しの時期について	
(質問)	・いつ買収になるのか現時点ではわからないとのことだが、事業期間となる平成35年3月に完成させるには、いつまでに引越し(買収)しないといけないか。
(回答)	・引越し(買収)となる時期については、戸建ての方や集合住宅の方など、それぞれ条件が異なるため、一概に事業完成から何年前までにとすることは申し上げられません。個別にご相談下さい。 ・地図訂正や予算の都合があり、現時点では、いつ、どこに用地交渉に入れるか申し上げられませんが、早ければ来年度(30年度)から用地買収にかかりたいと考えています。